

平成28年度鍼灸等研究費研究成果 要約

研究課題名	鍼灸文献データベース (JACLID) の掲載内容の充実と検索精度の向上に関する研究
班長 氏名/所属機関	山下 仁/森ノ宮医療大学、(公社)全日本鍼灸学会
班員 氏名/所属機関	高橋則人/明治東洋医学院専門学校、(公社)全日本鍼灸学会 金子泰久/東京医療専門学校、(公社)全日本鍼灸学会 保坂政嘉/森ノ宮医療大学、(公社)全日本鍼灸学会 東郷俊宏/東京有明医療大学、(公社)全日本鍼灸学会
成果	
1. 目的	<p>鍼灸文献データベース (Japanese Acupuncture Comprehensive Literature Database, JACLID) の目的は、わが国の鍼灸関連の学術論文の書誌情報を収集して検索可能にすることであるが、日本鍼灸の技術・研究・臨床知見等を掲載して、東アジア伝統医学における日本鍼灸の立場を保持するための証拠としても重要性を増している。</p> <p>平成28年度は、より多くの国内の鍼灸学術情報を掲載するために、医中誌 Web と役割が重複しない灰色文献の収集・書誌情報抽出に注力するとともに、国内の鍼灸 RCT の収集・情報要約・質の評価を通して人材育成を試みた。</p>
2. 内容	<p>1) 灰色文献の収集と書誌情報抽出：厚生省科学研究班、筑波大学理療科教員養成施設、東京衛生学園専門学校、および森ノ宮医療大学により発表された灰色文献の書誌情報を抽出した。</p> <p>2) 国内の鍼灸 RCT 論文の評価：厚生労働省平成26年度「統合医療」に係る情報発信等推進事業の一環として森ノ宮医療大学鍼灸情報センターが受注し作成した「鍼灸エビデンスレポート2015」の鍼灸 RCT 文献に関して、その研究の質を評価した。</p> <p>3) 関連セミナー参加による情報収集と技術習得：文献の系統的検索の考え方と手法に関する情報を収集するとともに、エビデンスにもとづく診療ガイドライン作成の基本的な知識および手法に関する情報を入手した。</p>
3. 成果/考察	<p>1) 灰色文献の収集と書誌情報抽出：計797編を JACLID に掲載できるようにした。</p> <p>2) 国内の鍼灸 RCT 論文の評価：評価の対象はメタアナリシス論文3編および RCT 論文33件である。その評価内容は、上記情報発信等推進事業による「統合医療」情報発信サイトにアップロードされた「鍼灸エビデンスレポート2015」に反映させた。</p> <p>3) 関連セミナー参加による情報収集と技術習得：国・学会などが公開するレジストリや研究補助金リストの検索、既存のシステムティック・レビューのレビュー対象文献のチェック、Google などの検索エンジンの利用、およびハンドサーチについて、従来の JACLID における文献収集手法では不十分であることがわかった。</p> <p>今後 JACLID は5つの役割が中心となる：①鍼灸の臨床的エビデンスの現状に関する情報入手サポート、②鍼灸の教育関連資料の収集サポート、③鍼灸の研究・レポート・記事作成の文献検索サポート、④システムティック・レビューおよびメタアナリシスのための系統的かつ徹底的な文献サーチのサポート、⑤日本に古くから鍼灸関連のオリジナルな学術文献が多数出版されていることの証拠保持。特に、灰色文献の収集と書誌情報抽出による掲載文献数の増加、新たなエビデンスおよび情報サイトの周知、診療ガイドラインへの対処、次代の後継者の発掘と育成に注力していきたい。</p>